

健やかに生き、安らかな最期を

Living Will

リビング・UIL

2016年
10月発行

No.163

俳優

近藤正臣さん

大いに語る。

ボクの最期は……

第5回日本リビングウイル研究会

- 井形昭弘名誉会長死去
- 出前講座担当者会議
- 全国自治体別「在宅死」割合



一般財団法人
日本尊厳死協会

希望を言えば 最期はやはり自宅で

俳優

近藤正臣さん

——長尾副理事長が聞く「50代で入会のわけ」

ご夫婦で20年来の日本尊厳死協会会員である俳優の近藤正臣さんが6月18日、東京・六本木の政策研究大学院大学で行われた協会設立40周年記念の第5回「日本リビングウイル研究会」に登場して、

「どうぞ、「あさが来た」は、おかしなことに芝居の本番をやって

いる時に、私の頭に流れてきてた音楽は祭りのお囃子なんです。ステレ、テン、……スットントン……と流れつて、それであ

いうせりふをしゃべって、

なんとも気持ち良かつたんですね。

あの時はほんまに死んだような気

分になつたんですよ。

近藤さんは20年前、53歳の時に

リビング・ウイルを書いて日本尊

厳死協会に入会ですけれども。

本日はお忙しいところ、ありが

とうございます。

NHKの「あさが来た」「真田丸」で

大活躍中です。見ていると、死ぬ

役や人を斬るシーンがある。

いきなりそこにきますか。

いくつも死んだり殺したりを、

きたんですよ。

怖い、お母ちゃん、死んだらど

ないなんの?」お母ちゃん、困

つたんですね。「私も死んでへん

やさかい、分からへんやない。お

父ちゃんのお墓のあるお寺さんへ

行ってな、お坊さんに教えてもら

い」と言われて、行つたんですよ、

1人で。

法主さんが出てきはりましてな、

巻物を2つ持つてきてね、広げて、

「見てみない。これは地獄や、こ

れが極楽や。死んだらどつちかに

行くねや。こつちへ行きたい人は

悪いことしたら行けるねん。こつ

ちはええことしたら行ける」。

小学生のボク、何も分からない

ですよ。和尚さんから納得いく話

を聞いてなかつたですね。

原体験が大事ですから、そこで

初めて身内の死を……

その後は、周りで死んだ人がい

なかつたんです。いつの間にか、

私50歳です。今度は生まれたとい

う話が聞けたんですね。私の娘が、

私が50歳の時に子供を産みはりま

したんや。50歳でおじいちゃん、



仕事の上でやつてきていますけれども、「こういう死に方ええなあ」と思うような死に方はそうなかつたんです。

だけど、「あさが来た」は、おかげで、「あさが来た」は、お生やつたが、急に「風邪ひいた」と言って寝て、1週間で肺炎で死んでいるんです、家中です。初めて私、自分の近い人が死んでいるというのを見たんですね。

最後はなんや覚えてないんですけどね、焼き場に行つたの。で、こんな骨のからからに入つて。へー、あんだけガタイのあつた人が、こんな小そならはる。これが死ぬということかいなあとと思うんですけど。なんか急に怖うなつて

3

あかんやろ、オレ役者やつてんや、それ営業妨害と言われへんか。しかし、「おじいさん」と社会から呼ばれる身になつたということは明らかやつたんですね。

ちようどその頃、普通に死ねん、あるいは、むごい生き様をさらしながら、なかなか死なせてもらへんで、周りの人らも大変や、とかそういうニュースがちょこん、ちょこんと出てくるんですね。ある時、何か知らん、全身から管が出ているドキュメンタリーのニュースを見た途端にですね、「これはあかん、これは怖い」と思った。なんとかこの恐怖心から逃げたいなと思つたら、尊厳死協会というのがあつたんですね。この協



会に入っていたら、「控えよ、私は尊厳死を望んでおるんで、このような死に様はしとうない」てなことを言うたら、抜いてくれるんやと思うてたんです。
どこで見つけはつたんですね?
なんで見つけたんでしょうね。気にしている時にピッと目に入つたんでしうね、きっと。「尊厳死」って、死ぬのに「尊厳」がつくのがすごいなあと思つて。これなら怖わないかもしれんと言うように割と簡単な動機でしよう。

ちょっとあることは、「アー、ウン」やら言うて家で倒れそうになつて救急車呼びますね。めつたに乗らないからちよつとうれしいですけれど……

乗つたことあるんですか?

2回ぐらいあるんですよ。着いたら、されるがままなんですね。救急で助けあかんし、なんとかせなあかんだろうと始まるやないですか。そこまではボク

「おおきに」とは言われへんです、私、絶対言われないんですよ。それやつたら、もう食わん死のうと思つぐらいの気分なんですけれども。

胃ろうやね。
近藤さん、なかなかその時にならないと分からへんかもしれないけど、最期はどうです?
希望でよければ、やはり自宅でボクは61歳やつたんですね。

そのまんま、ウーンと思いながら来たら、「そろそろ、近藤さん古希でござりますなあ」てなこと言われて。古希でな、そんな「いにしえ(古)まれ(稀)」やで。(この会場も)古希ばかりや。(笑)

だからちよつと考え方を変えなあかんねんけれども、もう死んでもええやろうという、そういう考え方やなくて、まだこれ生きてんやさかいに、とりあえず、まあんまりヤンチャしたり、横着したりせんと、割と気楽に、うーん、もう仕事一生懸命やろうとか、そんなこと考えへんのですね。まあんこと考へんのですね。まあやれる仕事ならやらせていただきましよう。でも、もうそんなに無理してあれもやる、これもやる、

は無理はないと思うんですけど。救急が終わつて「もうちょっと安靜にしましょか」とか言い出しつつ、労わつて、「あきませんなあ、だんだん栄養足らんようになつたら、ちょっとエンケルにしましょう」みたいなこと言うて(笑)。一番怖いのは、飯が食えんようになつきました、「近藤さん、可哀想に、お腹空くでしょ?」「いや、食べられしません」、「胃に穴を開けて、栄養流してあげましょう」。

西行さんが死ぬ前に満開の桜の下で満月の夜に死にたいという歌を書いています、「願わくは……」というやつをね。「もうあ

かんな」という時にあの歌を作りまして、それからちゃんと計画的に五穀を断つて、水を断つて、じつと桜の木の下に座るんですね。

自分でそういう風に歌に詠んだ状況を作つて、桜満開の夜、満月の下で「やつたあ」。すごいですねえ。

ほんまにリビング・ウイルのカードを見せたら、これは黄門さんの印籠代わりになるんですか?

なります、法律はないけれども。協会では会員のご遺族にアンケートして、「役に立ちましたか?」と聞いています。90数パーセントが「役に立ちました」と言つてます。

ほんまにこんなん気障ですけど、田舎で日本の四季、「死ぬ期」じゃないんですよ(笑)、4つの季節の「四季」なんですよ。じつくりと2、3年見たい、という風なことを考えております。

今日は色んな話をうかがえて、夢のような1時間でした。ありがとうございました。(拍手)
※発言の詳細は協会HPに掲載予定。
構成／編集部 写真／八重櫻信之

こんどう・まさおみ

1942年京都市生まれ、俳優。映画、ドラマ、舞台で活躍。最近では、NHK連続テレビ小説「あさが来た」、大河ドラマ「真田丸」などに出演。「真田丸」では、徳川家康を天下取りに導いた名参謀、本多正信役で存在感を見せている。山や海、自然を愛し、長良川や郡上八幡の自然保護運動にも参加。1966年、53歳で日本尊厳死協会に入会。

ながお・かずひろ／1958年生まれ。東京医科大学医学部卒業。外来診療と365日24時間の在宅診療を行う「長尾クリニック」院長。『平穏死10の条件』など著書多数。日本尊厳死協会副理事長。



考え方を変えなあかん 横着したりせんと気楽に

近藤正臣さん招きLW研究会

自宅や施設での看取りを考える

第5回「日本リビング・ウイル研究会」は、
協会設立40周年記念として盛会裏に開催された。



講師たちの研修は、昨年に続き2回目となる

日本尊厳死協会の設立40周年を記念した第5回「日本リビング・ウイル研究会」が6月18日、東京・六本木の政策研究大学院大学に300人が集まり開かれた。今回のテーマは「最期はどこで自分らしい終章を求めて」。

第一部は、俳優で協会会員の近藤正臣さんを特別ゲストに招いた40周年記念対談。長尾和宏・協会副理事長が聞き手となつた。

近藤さんは、NHK連続テレビ小説「あさが来た」のエピソードから、「初めて身近に死を体験した」祖父の死、53歳で入会した動機、「自宅での最期」を望む自らの死生観まで、俳優ならではの目に浮かぶような語り口で、時に満員の会場の笑いを誘いながら語つてくれた（発言の詳細は今号2）。

参加者の質問にどう答えるか

第2回出前講座担当者会議

リビング・ウイルを広めよう。
講師陣がスキル向上を目指し、研修に励む。

出前講座を開きましょう！

出前講座とは

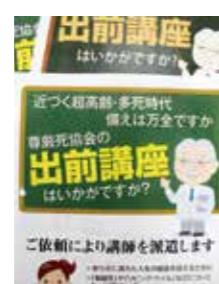
支部理事が講師となり、用意していただいた場所に出向いて「リビング・ウイルとは何か」等をやさしく説明する、1時間半ほどのミニ勉強会です。疑問や質問にもお答えします。非会員だけでなく、会員の皆様も理解を深める良い機会となります。

「出前先」はこんな場所

公民館や敬老会の催し、趣味の会、企業の勉強会など様々です。場所は問いませんが、会場費は負担していただきます。

「出前先」をご紹介ください

昨年度は全国で計130回開かれ、6000人が参加しました。仲間を増やしたいですね。お問い合わせは支部まで。



年間参加者6千人超す

会員になるメリットは何か」だ。講師たちは、「自分の意思のはつきりした表明になる」「自分の最期について家族に話すきっかけとなる」「家族への最後のプレゼント」などと回答しているという。

さらに、無料電話相談サービスや年4回の会報発行、各種講演会の開催など、協会活動も詳しく紹介している。

知症になつてもLWは有効か」「救急車を呼んだらどうなるか」「なぜ尊厳死法はできないのか」といった質問も多く、講師たちはどう回答したら理解を深めてもらえるか、活発な意見交換が行われた。

この日はまた、関東甲信越支部の若手の支部理事、常藤弘子さんが自身の出前講座のさわりを再現してみせ、それをもとに「より良い講座のもち方」を検討した。

出前講座は全国各地で開かれしており、昨年度の参加者は計6000人以上に上っている。

日本尊厳死協会の設立40周年を記念した第5回「日本リビング・ウイル研究会」が6月18日、東京・六本木の政策研究大学院大学に300人が集まり開かれた。今回のテーマは「最期はどこで自分らしい終章を求めて」。

第一部は、俳優で協会会員の近藤正臣さんを特別ゲストに招いた40周年記念対談。長尾和宏・協会副理事長が聞き手となつた。

近藤さんは、NHK連続テレビ小説「あさが来た」のエピソードから、「初めて身近に死を体験した」祖父の死、53歳で入会した動機、「自宅での最期」を望む自らの死生観まで、俳優ならではの目に浮かぶような語り口で、時に満員の会場の笑いを誘いながら語つてくれた（発言の詳細は今号2）。

「立川在宅ケアクリニック」理事長の井尾和雄医師は、「後悔しない最期の時の迎え方」と題して話した。同クリニックは、東京都立川市を拠点に在宅緩和ケアを行っている。がん患者が多く、看取りの患者数は、年間200件を超す。

「病院は死ぬ場所ではありません。病院は治療する場所。私が目指しているのは、家での穏やかな看取りです」「我々は主役ではありません。ご家族が看取っていきます。それを24時間支えていく医療が在宅医療です」と語り、「看取りには3つの覚悟が必要。本人の覚悟、家族の覚悟、そして最後まで支えていく医療者の覚悟です」と指摘した。

肺がんだった協会会員の夫が井尾医師のお世話をした斎藤万里子さんも登壇、体験談を発表した。



「今日の話でこれまでの医師不信が少し薄らぎました」と近藤さん

東京都八王子市にあるケア付き高齢者住宅「明日見らいふ南大沢」の協力医療機関「聖隸クリニック南大沢」の宮城島正行所長は、「高齢者住宅で安心して暮らし、最期を迎える」と題して報告した。

入居者の「物語」と共に

同クリニックは、元気な入居者がやがて衰えて病氣になり、最後に終末期を迎えるまでの、その人の「物語」（人生）に寄り添いながら、医療・介護、そして看取りを行っている。今では病院で亡くなる住民は3割以下になった。「経験を積んでいくなかで、住宅の職員らの意識が変わり、看取りに向けた実力がつき、満足する看取りの環境にだいぶ近づいてきたと思います」という。

討論には、近藤さんと長尾副理事長が加わり、最期を自宅や施設で迎える場合に課題となる、「救急車を呼ぶかどうか」「食べられない事長が加わり、最期を自宅や施設で迎える場合に課題となる、「救急車を呼ぶかどうか」「食べられない事長が加わり、最期を自宅や施設で迎える場合に課題となる、「救急車を呼ぶかどうか」「点滴はどう使う」などについて意見を交わした。

写真／八重櫻信之

全国自治体の在宅死割合

「自宅で最期を」と願う国民が多いなか、全国1741市区町村別の「在宅死」割合を厚労省が7月公表した。自治体別数値が一覧表になるのは初めてで、希望がかなうかは地域でかなり異なることが明らかになった。

国民が亡くなった場所は、人口動態集計（2014年）で「病院」75・2%、「自宅」12・8%、「老人ホーム」5・8%。他に少数だが診療所、老人保健施設がある。厚労省が発表したのは「在宅医療にかかる地域別データ」（同省ホームページで公開）。

2014年時点の在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション数や死亡場所割合（自宅と老人ホーム）などを出している。

在宅死割合（表）は人口20万人以上の都市（126市区）で、神奈川県横須賀市の22・9%が最も高く、鹿児島市8・0%が最低だった。最大3倍の開きがある。また、人口5万人～20万人未満の中

市区町村の「死亡場所」割合一覧が公表された。

あなたのまちの「在宅死」割合は、地域の在宅医療力のバロメーターでもある。

都市で3倍、中規模自治体で5倍 地域差がある



都市（人口20万人以上）の「在宅死」割合

自治体	在宅死割合
横須賀市（神奈川）	22.9%
葛飾区（東京）	21.7%
市川市（千葉）	21.5%
新宿区（東京）	21.4%
墨田区（東京）	20.0%
江戸川区（東京）	19.9%
豊島区（東京）	19.2%
江東区（東京）	18.7%
船橋市（千葉）	18.7%
福島市	18.5%
⋮	⋮
佐賀市	9.3%
秋田市	9.2%
伊勢崎市（群馬）	9.1%
枚方市（大阪）	9.0%
松江市	8.8%
北九州市（福岡）	8.7%
佐世保市（長崎）	8.5%
富山市	8.5%
旭川市（北海道）	8.5%
鹿児島市	8.0%

中規模自治体（人口20万人未満～5万人以上）の「在宅死」割合

自治体	在宅死
豊岡市（兵庫）	25.6%
中央区（東京）	21.5%
浦安市（千葉）	20.5%
生駒市（奈良）	20.1%
大網白里市（千葉）	19.9%
立川市（東京）	19.6%
鳥栖市（佐賀）	19.5%
伊達市（福島）	19.4%
半田市（愛知）	19.3%
北上市（岩手）	19.2%
天理市（奈良）	19.2%
⋮	⋮
江別市（北海道）	6.9%
日置市（鹿児島）	6.9%
行橋市（福岡）	6.9%
伊万里市（佐賀）	6.9%
五所川原市（青森）	6.7%
小松市（石川）	6.7%
宇佐市（大分）	6.7%
由利本荘市（秋田）	6.5%
沼田市（群馬）	6.4%
武雄市（佐賀）	5.7%
蒲郡市（愛知）	5.5%

地域の取り組みの濃淡反映

規模自治体（428市区町）では、兵庫県豊岡市25・6%、愛知県蒲郡市5・5%まで5倍近い差があった。

これら地域別データから読み取れるのは：

- 都市の上位自治体のうち9つを東京、千葉、神奈川の1都2県で占めた。
- 中規模自治体で低い方の11自治体のうち5市が九州地方。
- 人口当たり病院数が多い地域や在宅医療体制が手薄な地域は在宅死割合が低い。

在宅死割合の地域差は、在宅医療推進に取り組むマンパワーの違いや、地域包括ケア、特にエンドオブライフケアに対する自治体の取り組みの濃淡が影響しているよ

うだ。今回データの「在宅死」定義（注）から、在宅死率がそのまま「在宅看取り」率ではないが、地域の在宅医療力を測るパロメータの一つであることは確かだ。

都区部にも「東京事情」

都市別をみると東京区部の在宅死割合がそろつて国平均を9・6ポイント上回るのが目立つ。在宅医療体制の取り組みが進んでいる表れだが、「東京事情」も垣間見える。

都市トップの横須賀市は自宅以外に老人ホーム死が10%ある。老人ホームを含めた広い意味の「在宅死」は3人に1人の割合だ。これ対し東京区部では老人ホーム死が各5%弱で、広い意味の「在宅死」は20数%。横須賀市との差は歴然で、病院死率の差（横須賀市60%、東京都全体73%）にも表れている。特に区部は地価の関係で老人ホームの少なさが影響しているとみられる。

もう一点、都会特有の「孤独死」が自宅死数を上げているのではなく、認証場所が自宅だった割合。グループホームサービス付き高齢者住宅を含む。在宅療養中でも病状急変で病院に搬送されて亡くなった人は含まれない

（注）在宅死割合

医師による死亡確

認場所が自宅だった割合。グルーピ

ームサービス付き高齢者住宅を含む。

言葉だけでない多職種連携

「最期までおうちで」が選べるまちづくり5年
都市で「在宅死」割合トップの横須賀市

日本医療伝道会・衣笠病院の「チ

ーム衣笠」が連携会議に加わった。
門員である看護師、医療ソーシャルワーカー、事務職員の5人組
で、在宅医療推進に欠かせない多職種連携の専門チーム。連携会議は現場の空気に包まれた。

全国自治体「在宅死」率の人口20万人以上都市でトップは神奈川県横須賀市。三浦半島にあるまちを訪ね、市地域医療推進課長の川名理恵子さんから聞いた「そのわけ」をまとめた。

「谷戸に素地あり」
市内には東京湾に面して谷戸があり組む「谷戸（やと）」と呼ばれていた。



「谷戸」が数多い横須賀のまち

れる丘陵住宅地が約50地区ある。車が入れない階段路は高齢者泣かせで、昔から往診や訪問診療が多くた。

その在宅診療が「推進」へ展開されたのは2011年。高齢者アンケートで「最期は自宅で」が6割あつた。推進母体に市在宅療養連携会議が組織された。

活動は民間力で飛躍。市医師会が在宅療養連携拠点「かもめ広場」を立ち上げ、ホスピスも運営する

車が入れない階段路は高齢者泣かせで、昔から往診や訪問診療が多くた。

その在宅診療が「推進」へ展開されたのは2011年。高齢者アンケートで「最期は自宅で」が6割あつた。推進母体に市在宅療養連携会議が組織された。

連携といつても職種の「壁」がある。それをほぐしたのは多職種合同研修会。14年には医療、介護、事務職員、さらに栄養士ら175人が参加、互いが吐き出した意見を元に「在宅療養連携推進よこすかエチケット集」が発行された。

情報共有のエチケットから、とかく話すらしい医師やケアマネジャーへの注文までが並ぶ。これで多くの職種の意思疎通がはかれた。

市民の意識啓発も大きな課題だ

った。市は13年、ガイドブック『最

期までおうちで暮らそう』を作成、これまで3万部が市民に読まれた。具体的なエピソードを交えて

わかりやすい説明。日本尊厳死協会の「宣言書」へのアクセスも紹介されているが、横須賀版LW作成を検討したいという。

市内の一般診療所（開業医）で紹介され、在宅看取りに対応する診療所は14施設ある。

「連携」にもマナ

ら、開業在宅医が病院に出かけての「出前講座」である。

市内の一般診療所（開業医）

316のうち在宅医療を行うのは66。この2年間で12施設増えた。

「在宅」診療所は市ホームページで紹介され、在宅看取りに対応する診療所は14施設ある。

協会宣言書へアクセス

「真の多職種連携が横須賀の在宅医療の宝です」と語る横須賀市地域医療推進課の川名理恵子さん



「真の多職種連携が横須賀の在宅医療の宝です」と語る横須賀市地域医療推進課の川名理恵子さん

追悼 井形昭弘名誉会長

会員増勢時代をリードし 米寿目前、なお活動参加

理事長 岩尾總一郎

名誉会長の井形昭弘先生が8月12日に急逝された。享年87歳。9月の誕生日には鹿児島大学で教え子が米寿のお祝いをするとお聞きしたばかりで、惜しまれてならない。協会の5代目理事長を務めた2002年から10年間は会員数が10万人、更に12万人に達する増勢時代だった。その大組織を「対立を少なく、共通点を大きく」の信条でリードされた。

現役の名古屋学芸大学学長を務めながら、理事長退任後も協会活動にはよく参加された。7月下旬開かれた東海支部「法理研究会」にも出席、元気な様子だったといふ。翌日「協会リビングウイルの改訂も国会議員がこれならという形を模索し前進したいと思います。」と記した先生からのメールが届いた。

井形先生は葉害病 SMOON（ス



静岡県浜松市生まれ(1928年)、東京大学医学部卒業、神経内科医に。鹿児島大学医学部教授から付属病院長、学長を務め、国立療養所中部病院長(現国立长寿医療研究センター)。日本尊厳死協会では東海支部長から理事長(2002年~12年)を経て名誉会長を務めた。

「頑張るぞ」の声が:
前東海支部長 青木仁子

モン)の原因究明、水俣病の判断基準、脳死臨調の議論、介護保険の制度設計などに携わった。先生が歩んでこられた道を振り返ると、未知の領域を切り開いてきた先進性に気付かされる。高齢者の健康に取り組まれてから関わられた尊厳死運動も、これから医学、医療の新しい課題への挑戦だつたようと思われてならない。

私は厚生省時代から行政の場で

大変お世話になり、私が

まいりたい。合掌。

井形昭弘先生が突然、亡くなられたと聞いて、大急ぎで先生を私の心の中に仕舞い込みました。東海支部で共に活動する先生を尊敬するようになつたのは、「尊厳死の宣言書」が記載する「不治かつ末期」を病態ごとに具体的に分かるような本を作りたい、と思つたことになります。

皆さんからは「特に末期を文章にするのは難しい」とのこと、前に進めませんでした。先生に相談すると、「死亡時からさかのばれば、あの時が末期であつた、と分かるのだから、文章に書けないことはない」と言われ、右手でお得意のこぶしをつくり、突き上げて「頑張るぞ」と呼ばれました。そして平成19年、協会から「私が決める尊厳死」の出版にこぎつけたのでした。以来、私は何度も「エネルギーを送ります」という先生の言葉に励まされてきたことか。あの「頑張るぞ」をまだまだお聞きしたいところでしたのに…

在宅医を1人でも多く

開業医を対象にベテラン医師が指導医となって在宅医療を経験してもらつた。また病院勤務医に在宅医療を理解してもらうセミナーを開いた。勤務医は忙しいからか

到着後に死亡が確認された。

私は、ことあるごとに井形先生から尊厳死の大切さと医師の努めを説かれ、その導きで運動に參加した。先生が残された思いを重く受け止め、協会の発展に尽くしてまいりたい。合掌。

編集部 白井正夫

LWのひろば

入会に感謝と安心

石井暢子 78歳 千葉県

捨てる医師あれば…

宮城武守 82歳 東京都

台湾、あつぱれ！

中山玉枝 78歳 神奈川県

1992年に入会し、主人の両親と主人を見取り、自分の両親も今はなく、長男家族と2世帯で過ごしています。会報は、160号より文字も大きくなり、色使いもきれいで、写真も多くなり、とても親しみやすく、読み易くなりました。

161号に載った台湾「患者自主権法」成立の記事を読み、ほんとうに羨ましく思いました。「終末期」「回復不能な昏睡状態」「持続的植物状態」「極めて重度な認知症」「その他」の5種類が良いです。私が何より気

に入っているのは、事前指示書を作成し、健康保険証に入力・登録される仕組みです。それが病院などの端末でいつでも確認できること。

尊厳死協会はこんなに長い間、頑張ってこられた方々が居られるのに、「なぜ？」、「なぜ？」の思いです。

編集後記にもありますように、台湾の法制化にとても興味があります。事故などで救急を使う時、自分で話すことができない時、保険証さえあれば自分の気持ちに一番近い処置をしていただけるように思います。マイナンバーによりこちらの方が先のように思いますが。

感謝と安心したことと今もはつきりと覚えていています。

入会できてホッとしました頃は、お薬を飲むとおかしくなるようなので、先生に話しましたら、「薬のせいではない、続けて飲むように」と言されました。

でも、トイレに行くのがやっと、お薬を飲んで30分起きていることができない状態で、6種類のうちひとつを止めたら、歩けるようになります。

今ではスーパーにも買い物に行けますし、お花などを植えて楽しんでいます。これも尊厳死協会に入会できて、安心したためかなあと思っています。

今から22年前の平成6年、脳幹出血で倒れた。救急病院の医師から、「脳幹出血は現在（当時のこと）の医療では治療も手術もできず、2、3日もつか、生きながらえても植物人間です」と言われた。

しかし、捨てる医師あれば、助ける医師あり。止血した1週間後に転院して即、手術により、後遺症もなく現在に至っております。その時の医師との約束で、諦めた命を世の中に還元したいと、臓器提供ドナーカードを持ちました。それから15年後、現在の内科の先生から、「高齢になると臓器提供は無理」と言われました。考えた末、いま通院している大学病院で献体の登録をしました。

今は終活時代。新聞で知った東京都江東区にある「終活アフェ」にも度々行き、そこで「看取り」とかのドキュメンタリー映画の監督とも知り合いになりました。読んだ本で、尊厳死協会のことも知りました。

私の終末は、1日のお別れから、献体に行き、返骨の後、海への散骨と決めています。



有吉文学に魅せられて

西尾利夫 70歳 大阪府

有吉佐和子の小説「恍惚の人」の中で、認知症の主人公が通う老人会館で、主人公より年上の男性が囮暮の終わりかけに突然死してしまう。しかし、同年齢の人たちは「なんて素晴らしい死に方だろう」と、誰ひとり涙を流さず共感した。この話が

平成の「坂田の金時」

山田良子 89歳 愛媛県

6日ぶりのおにぎりを右手に、また左手の水筒を持つ指の長く逞しいこと。私は迷わず、足柄山の「坂田の金時」を重ねていました。君は熊には会わなかつたけど、熊は若しかして隠れて君にエール送っていたかも。君が凄いのは、あの時、

強く印象に残り、60歳になり入会しました。

家族と別れた後、同居した母も他界し、8年が過ぎました。一人になつた私は、有吉小説の舞台巡りをしました。和歌山県を舞台にした『紀ノ川』『有田川』『日高川』『華岡青洲の妻』『香華』『助左衛門四代記』。新たに発見が多々あった。その縁で、和歌山県厅に毎年、ささやかな「ふるさと寄付」をさせていただいている。

有吉先生がいたからこそ、素晴らしい自然豊かな山、川、海が私の心を和ませてくれています。好きな歌手の高橋真梨子さんのCDと有吉先生の本を助手席に、ドライブを楽しんでいます。

大和君、生きる力を有難う！

編集部より

●投稿の募集

テーマは「私の入会動機」「一人暮らしの知恵」「新しい年に」など自由。800字以内で。手紙またはファクス(03-3818-6562)、メール(info@songenshi-kyokai.com)で。

●写真の募集

新年1月号に相応しい写真を。数年前の撮影も可。データをメール送信(アドレスは同上)、またはプリントを郵送。選者は日本写真家協会の八重樫信之氏です。いずれも、協会本部会報編集部宛に、「ひろば投稿」と明記のこと。締め切りは11月15日です。

専門家が議論

日本尊厳死協会には、医師や法律家らが定期的に集まり、医療、倫理、法律問題を議論する場がある。

東海支部（小林司支部長）が3年前、支部内に設けた「終末期医療・法理研究会」だ。活発な議論が続き、間もなく30回を重ねる。

研究会の設立は、発案者の青木仁子支部長（当時）によると、「医師、法律家が一丸となり、患者の願う終末が迎えられるような体制を作り、法整備に取り掛かる必要がある」との考え方だつた。

「立場の違う医師と法律家がじっくり議論する場がない」と思つていた元名古屋高裁判事で弁護士の青山邦夫・同支部理事も賛同し、研究会代表を引き受けた。

メンバーは、支部理事の医師や弁護士らを中心に約20人。医事法学者の金川琢雄・前北陸支部長や尊厳死に詳しい非会員の若手弁護士らも加わり、一支部を超えた存在になつてている。

士らも加わり、一支部を超えた存在になつてている。

名古屋市内の青木さん宅「青木記念ホール」を会場に、年に8、9回開かれ、毎回、2時間余り議論が行われる。

テーマは幅広く、最近は海外事情の報告、分析が続いている。

欧米・アジアの現状も

オーストラリア・サウスオーストラリア州における「意思決定支援」モデルについての現地報告（第26回）、アメリカにおける事前指示法の現状分析に関する（第27回）、台湾と韓国の尊厳死法の現地報告（第28回）などだ。

「議論すべきテーマは多く」（青木さん）、青山代表は、「広い視野から終末期の法律・倫理を研究していきたい」と語る。

文と写真 編集部・清水勝彦

「法理研究会」の歩み

第12回●2014年6月

医師の説明義務 水野吉博・弁護士
患者意思の代行・代諾
金川琢雄・法学者

第13回●2014年7月

オランダ・安楽死法制定前後（1990～2010）の終末期慣行 豊嶋英明・医師
遷延性意識障害 青山邦夫・弁護士

第14回●2014年9月 青山邦夫・弁護士

カレンクリーン事件

第15回●2014年10月 青山邦夫・弁護士

遷延性植物状態と人工的栄養・水分補給
日弁連「患者の権利に関する法律大綱案の提言」

第16回●2014年11月 青山邦夫・弁護士

米国における事前指示法理の展開

第17回●2015年1月 水野吉博・弁護士

成年後見制度と尊厳死

第18回●2015年4月 青山邦夫・弁護士

ALSと人工呼吸器の差し控え・中止
第19回●2015年5月 渡辺佳夫・医師
ALS患者が直面する現実

第20回●2015年7月 青山邦夫・弁護士

DNR指示に関する倫理問題と米国の法制化

第21回●2015年9月 水野吉博・弁護士

救急・集中医療における終末期医療に関するガイドライン—3学会からの提言

2時間余り議論が行われる。テーマは幅広く、最近は海外事情の報告、分析が続いている。



7月24日の研究会には故井形名誉会長の元気な姿も（前列中央）

第22回●2015年10月 青山邦夫・弁護士

患者の治療拒否権—米国の判例理論

第23回●2015年11月 青山邦夫・弁護士

プライバシーの権利、自己決定権など

第24回●2016年1月 金川琢雄・法学者

英国医師会「延命治療の差し控えと中止」の意思決定ガイド

第25回●2016年3月 金川琢雄・法学者

英国・延命治療の差し控えと中止に関する2つのガイド

第26回●2016年5月 松隈知栄子・弁護士

豪サウスオーストラリア州における意思決定支援モデル

第27回●2016年6月 水野吉博・弁護士

米国50州・1特別区の事前指示法の現状分析

第28回●2016年7月 清水勝彦・協会職員

台湾と韓国の尊厳死法制化の動き

会員の声に耳を傾け きめ細かな交流目指す

機会がなかなかなくて

等々の話の後、会場を提供してくれたNPO法人ひばりの里ネットワークの近藤るみ子理事長を交えての意見交換となつた。

「名前に『死』が付くと、友達を誘つても抵抗があり、来てくれない。名称を変えたほうがいい」「死に関心のある高齢者が増えているのに、会員減少は理解できない」などの意見も出た。

会員同士で話をする機会はめつたにないだけに、話題は尽きず、あつという間に予定の2時間が過ぎていった。

「地域サロン」は2012年2月に始まった。「東京・本郷の支部まで行くのは大変だ」という高齢会員の声が支部に届き、埼玉県富士見市で開いたのが最初だった。

以来、安く借りられる場所を探しては、その周辺地域に住む会員にはがきを出している。

会員間の話もはずむ

「夫の母がだんだん食べられなくなってきた。どうしたらいか勉強したい」

「夫が理解してくれない。どうしたら分かつてもらえるか」「孫が生まれ、『生まれる』『死ぬ』



気楽な雰囲気の中、活発な話し合いが／「地域サロンin加須」

ほぼ毎月開催中

「地域サロン」は2012年2月に始まった。「東京・本郷の支部まで行くのは大変だ」という高齢会員の声が支部に届き、埼玉県富士見市で開いたのが最初だった。

以来、安く借りられる場所を探しては、その周辺地域に住む会員にはがきを出している。

丹澤支部長は、「地域サロンは、自分の話を聞いてもらいたい、他の会員の体験や考えを知りたい、という会員の方々のニーズにこたえる場で、開催の手ごたえを感じている」と語る。

「地域サロン」の問合せや開催希望は同支部（☎03-5689-2100）まで。会報の支部催事情報欄でも、当面の開催予定を告

して参加を呼びかけている。

関東甲信越支部は1都9県の広域をカバーし、全国会員の半数以上が支部内に居住している。そのため、会員との関係をどう強めていくか、会員サービスが課題のひとつになつてている。

丹澤支部長は、「地域サロンは、自分の話を聞いてもらいたい、他の会員の体験や考えを知りたい、という会員の方々のニーズにこたえる場で、開催の手ごたえを感じている」と語る。

「地域サロン」の問合せや開催希望は同支部（☎03-5689-2100）まで。会報の支部催事情報欄でも、当面の開催予定を告

患者の意思尊重を 目指して

北陸支部（進藤洋一支部長）の第3回リビングウイル研究会が6月11日、金沢市の金沢市文化ホールに40人が参加して開かれた。

金川琢雄・前支部長と山崎利男支部理事の司会で、医師や看護師ら4人が、テーマ「終末期医療における患者の意思の尊重」について考えを述べ、論議し合った。

認知症医療に携わる北村立・石川県立高松病院院長は患者の意思確認が難しい実情を紹介し、済生会金沢病院診療部長（麻酔科）の喜多正樹支部理事は「病院としては、入院患者全員にLWを確認する」と提案した。

続く同金沢病院の森口敏満・内科系病棟副看護師長は看護師の立場から「書面でLWを持っていれば看護師も関わりやすい。私たち

は患者の思いを知りたい」と語り、川島和代・石川県立看護大学教授（老年看護学）は若い学生に「尊厳ある死」を教えるのは難しいが、「LWの普及が大切で、まず看護師、医師からしっかりと学ぶことが大事だと思う」と述べた。患者の立場を代表した藤井忠邦・同支部理事は、事前指示書を用意しているものの、「本当にそれが実現するのか確信は持てない」として、全国の患者が安心して尊厳死できることの到来を訴えた。

フロアを交えての議論では胃ろう、人工透析の問題が取り上げられ、4月に就任した進藤支部長が所信を述べて閉会した。

フロアからの意見を聞く発言者ら



「地域密着」 開催で大成功

会が6月11日、「認知症の終末期ケア」をテーマに大阪府豊能町で開催され、435人が参加した。

豊能町介護者（家族）の会、豊能町社会福祉協議会からの提案で、初の三者共催となつた。

長尾和宏・関西支部長（協会副理事長）は基調講演で、認知症とは何か、終末期とはどんな時期かなどを分かりやすく説明したうえで、「介護から快互へ居心地の良い環境づくりを」「延命死ではなく良き環境づくりを」「延命死ではこの大きさ」を訴えた。

会場との質疑では、家庭の悩みの具体例について質問があり、参加者の一層の理解が進んだ。関西支部は、「この企画が豊能町の在宅ケアの大きな起爆剤になる事を願っている。地域密着・共催型のLW研究会が効果的だとわかったので、今後とも摸索していきたい」という。

馬渡秀徳「まわり内科」院長は、終末期患者を看取る医師の悩みを具体的を挙げて吐露し、参加者に問い合わせた。小宮悦子「フリーステーション」代表は、尊厳死が実行されにくい理由を説明して「まずは尊厳ある生を」と訴えた。木寺喜義「豊能町介護者（家族）の会」会長は、自身の体験から認知症の人への意思表示の難しさを語り、丸尾多重子「NPO法人つどい場さくらちゃん」理事長は、「つどい場」での事例から、「食べる」と「食べることの大切さ」を訴えた。

会場との質疑では、家庭の悩みの具体例について質問があり、参加者の一層の理解が進んだ。関西支部は、「この企画が豊能町の在宅ケアの大きな起爆剤になる事を願っている。地域密着・共催型のLW研究会が効果的だとわかったので、今後とも摸索していきたい」という。

おしゃべり広場

日程○10月18日、11月15日いずれも火曜日、午前10時～正午
会場○札幌エルプラザ3階多目的室（札幌市のJR札幌駅北口前）
全着20人、予約不要

石狩南部秋季研修会

日程○12月3日（土）
会場○千歳市社会福祉協議会会議室（予定）
テーマ「在宅医療における看取り」
講師○草場鉄周氏（医師、医療法人北海道家庭医療学センター理事長）

関東甲信越 支部

☎ 03-5689-2100

✉ kantou@songenshi-kyokai.com

公開講演会in千葉

日程○10月12日（水）午後2時～4時
会場○千葉市民会館 小ホール（B1F）
JR総武線千葉駅東口徒歩7分、
京成千葉線千葉駅徒歩10分

講演「尊厳死をめぐる課題と展望」

講師○岩尾總一郎・日本尊厳死協会理事長
定員○316人、先着順、無料、どなたでもどうぞ

地域サロン横須賀

日程○10月20日（木）午後2時～4時
会場○横須賀市文化会館第2会議室
京浜急行線横須賀中央駅西口下車 徒歩10分

地域サロン藤沢

日程○11月29日（火）午後2時～4時
会場○藤沢市民会館第2会議室
JR東海道線藤沢駅南口下車徒歩10分
神奈川県合同庁舎の国道を挟んで向かい側

地域サロン武蔵小杉

日程○12月13日（火）午後2時～4時
会場○川崎市中原市民館第1会議室
川崎市中原区新丸子東3、
パークシティ武蔵小杉ミッドスカイタワー
JR南武線・横須賀線、東急東横線目黒線、
武蔵小杉駅徒歩4分

地域サロンは入場無料、予約不要、会員以外の方でも大歓迎です。

秋 活動部 2016

会員になつても
LWの勉強は
続きます
ぜひご参加を

北海道支部

☎ 011-736-0290

✉ hokkaido@songenshi-kyokai.com

尊厳死を語るつどい

日程○11月12日（土）午後2時～3時半
会場○札幌コンベンションセンター（107、108会議室）
札幌市の地下鉄東西線東札幌駅徒歩8分
テーマ「救急集中医療と尊厳死」
講師○丸藤哲氏 北海道大学大学院医学研究科教授（救急医学分野）
定員○300人
(要申込、申し込み方法は支部HPで案内)

旭川秋の定例講演会

日程○10月16日（日）午後1時半から
会場○旭川市ときわ市民ホール多目的室
講演「自分らしい旅立ちのかたち」
講師○澤知里氏（葬送を考える市民の会代表理事）
講演「老いる 病める 死ぬる」
講師○萩原信宏氏（道北勤医協旭川医院院長）
定員○100人
問い合わせは旭川地区懇話会、澤田（☎0166-65-5839）

北広島講演会

日程○10月18日（火）午後2時半～4時半
会場○北広島市芸術文化ホール 活動室
講演「地域で看取りが出来るように」
講師○本間利和子氏 ふるびら和み理事、看取り士
講演「多死社会の認知症と看取りについて」
講師○江端英隆氏 札幌徳洲会病院健康管理センター長、北海道支部副支部長
定員○100人
問い合わせは北広島懇話会・田上（☎011-372-1183）まで

四国支部

☎ 089-993-6356

✉ shikoku@songenshi-kyokai.com

一般公開講演会

日程○11月13日(日)午後1時半～3時半
会場○愛媛県美術館講堂(松山市堀之内)

講演「終末期医療の現状と課題
～在宅の実例から学ぶ～」
講師○吉田美由紀氏 医療法人聖愛会ベテル在宅
療養支援センター所長

高松地区懇談会 「尊厳死を考える」

日程○10月23日(日)午後1時半～3時半
会場○高松市生涯学習センター(まなびCAN)
高松市片原町

講演「最期まで自宅でいるということは」
講師○西口潤氏 医療法人社団愛和会あさひクリ
ニック理事長・院長

エンディングノート講座

会場○松山市の支部事務所
定員○15人(先着順)
☎、FAX(089-993-6357)、Eメールで支部までお申し込みください

第1回 10月13日(木)午前10時～11時
「もしもの時にあなたを支える制度について」
講師○NPO法人和道 江島宏明氏

第2回 12月15日(木)午前10時～11時
「自宅で迎える最期に必要なこと」
講師○エンディング支援センターえひめ主宰
黒川理恵子氏

第3回 2017年3月8日(水)午前10時～11時

支部サロン

日程○10月7日(金)午後1時半～3時半
体のために続けている事を教えてください。
11月4日(金)午後1時半～3時半
来年トライしたい事、何ですか?
会場○松山市の支部事務所で

趣味あれこれ会

絵手紙・俳句を楽しんでいます。
日程○10月21日(金)、11月18日(金)
午後1時半～3時半
会場○松山市の事務所で

関西支部

☎ 06-4866-6365

✉ kansai@songenshi-kyokai.com

公開講演会in滋賀

日程○11月6日(日)午後1時半～4時50分
会場○大津市のピアザ淡海(滋賀県立県民交流
センター)JR大津駅よりバス、京阪電車
石場駅歩き5分。駐車場あり。

挨拶○長尾和宏・協会副理事長、関西支部長

講演「良い人生だったと 思える生き方」

講師○千日回峰行満行 大阿闍梨 光永覚道師
ざっくばらんでもユーモアがあり、含蓄のあるお話し方はとても魅力的です。

懇談会○午後3時50分～午後4時50分

定員○400人、無料

参加申込方法
FAX(06-4866-6375)、Eメール、ハガキで
氏名、住所、電話番号、会員・非会員を記入して
事務所まで。関西支部ホームページからも申込
できます。

第11回サロン交流会

日程○10月25日(火)午後1時～3時
会場○支部事務所

テーマ「安らかな旅立ち
～夫と母を見送って～」

担当の三上啓子支部理事が30分ほどお話をした
後、自由に話し合いをします。
定員○15人(要予約 支部まで)

定例サロンへのお誘い

日程○毎週火曜日午後1時～4時
10月4日、11日、18日、25日
11月1日、8日、15日、22日、29日
12月6日、13日、20日

会場○支部事務所(新大阪駅から徒歩5分。御堂
筋に出ると屋上にLIXILのオレンジ色の看
板の見えるビルの7階です)

協会のこと、終末期のこと、リビング・ウイルのこと、おひとりさまの生き方のこと…支部理事がお待ちしています。予約不要です。お気軽にお越し下さい。

第22回 仙台駅横 リビング・ウイル交流サロン

テーマ「私流 健康法
—すこやかに長生きするために」

日程○10月14日(金)午後2時～3時半

会場○「せんだいアエル」6階特別会議室

(JR仙台駅西口、徒歩3分)

どなたでもどうぞ、無料

次回「交流サロン」は来年1月20日(金)、場所・
時間は今回と同じ

東海支部

☎ 052-481-6501

✉ tokai@songenshi-kyokai.com

第3回 リビング・ ウイル研究会 東海地方会

テーマ最期はどこで～
自分らしい終章を求めて

日程○10月16日(日)午後1時～4時

会場○愛知県医師会館大講堂
名古屋市中区栄。中日ビル50m南側

開会挨拶○東海支部長 小林司

基調講演

「高齢者の終末期ケア」

○益田雄一郎氏

(美濃加茂市・

みのかも西クリニック院長)



意見報告

○荒木久恵さん(会員)

「91歳の親の思いをいかに実現させたか」

○和田京子さん(ケアマネジャー)

「在宅介護の仕組み」

意見交換

定員○200人、どなたでもお出かけください

共催○愛知県医師会、名古屋市医師会(日本医
師会生涯教育認定講座)

後援○中日新聞社

東北支部

☎ 022-217-0081

✉ tohoku@songenshi-kyokai.com

第3回 日本リビング・ ウイル研究会 東北地方会

テーマ地域で生活を支える
緩和ケア
—「より良く生きぬく」ための
全人的なケア—

日程○11月26日(土)午後1時半～4時

会場○東北大大学医学部

星陵オーディトリアム講堂

仙台市青葉区の東北大病院 西側ブロック
(仙台市バス「東北大大学病院前」下車)

開会挨拶○東北支部長 橋村襄

第1部 基調講演

「地域に根ざした
緩和ケアセンターの役割」

—終末期に限らず、
あらゆる苦痛に深く対応—

○井上彰氏

東北大大学院医学系研究科
教授(緩和医療学分野)



第2部 討論

コーディネーター

○伊藤道哉氏

東北大大学院医学系研究科准教授、支部理事

パネリスト

○佐藤富美子氏

東北大大学院医学系研究科教授(がん看護学
分野)

○藤田紀子氏

藤田綜合法律事務所・弁護士、支部理事

○井上 彰氏

後援○宮城県医師会、仙台市医師会、宮城県薬
剤師会、宮城県看護協会、河北新報社

どなたでも参加できます。無料

問い合わせは支部へ

LWの受容協力医師

第85報

2016年6月～8月の間に新しく登録
なさった医師の方々です。

[会は会員医師]

医療施設名	診療科	医師名(敬称略)	施設所在地	電話
北広島在宅ケアクリニック 活き粹	緩和ケア 内科	田中孝直	北海道北広島市大曲光2丁目1-8 BRIO23 103T号	011-370-3888
伍光会 北村山在宅診療所	在宅医療	肌附英幸	山形県東根市温泉町2-5-3	0237-41-0583
コンフォートガーデンクリニック	在宅医療	木下朋雄	東京都新宿区河田町3-2	03-3357-0086
健朗会 三五医院	内科 神経内科	三五美和会	東京都中野区南台2-6-8	03-3381-0313
浴風会病院	内科 神経内科	雨宮志門	東京都杉並区高井戸西1-12-1	03-3332-6511
ゆみのハートクリニック	循環器内科	岡山 大	東京都豊島区高田3-14-29 KDX高田馬場ビル	03-5956-8010
ゆみのハートクリニック	循環器内科	藤田真奈	東京都豊島区高田3-14-29 KDX高田馬場ビル	03-5956-8010
田園二子クリニック	内科 整形外科	山岡桂太	神奈川県川崎市高津区溝口2-16-5 アイビーランド2F	044-850-2122
横須賀市立うわまち病院	内科	中川 充	神奈川県横須賀市上町2-36	046-823-2630
光恵会 芝西医院	内科 消化器内科	藤澤貴興	埼玉県川口市芝西2-27-16 SSビル1A	048-424-2898
博済会 湯澤医院	精神科 内科 小児科	湯澤 俊	埼玉県さいたま市西区西遊馬1260-1	048-624-3974
大坪医院	内科	大坪正敏	大阪府堺市中区深井中町529-2-8	072-270-5119
堀江内科呼吸器科医院	内科 呼吸器内科 アレルギー科	堀江 肇会	島根県出雲市今市町北本町1-8-21	0853-21-0067
岩崎内科医院	内科	岩崎皓一	山口県岩国市南岩国町1-30-13	0827-31-4815
介護老人保健施設 愛と結の街	内科	黒野明日嗣	鹿児島県鹿児島市小原町8-3	099-260-6060
今村病院分院	総合内科	納 光弘会	鹿児島県鹿児島市鴨池新町11-23	099-251-2221

※LW受容協力医師名は10月から、北海道、東北、関東甲信越、北陸、九州支部関係分を協会各支部ホームページで閲覧できます。

会員専用認証パスワードは「jsdd」です。

ご寄付ありがとうございました (敬称略)

旭 忠子	10,000	吳 東富	3,000	南木慶子	10,000	米澤輝道・逸子	6,585
麻生嘉彦・芦佐子	5,000	小谷 朗・智子	1,000	西村七海雄・紀子	10,000	渡辺和子	1,691
阿部昭次・ナホミ	2,000	佐伯昭雄・恵美子	4,000	橋本美智代	2,800	匿名	30,000
安藤安江	10,000	坂本 力・佳子	5,000	林 美津子	12,890	匿名	3,600
伊藤絹子	363,796	澤田雅哉	58,994	広瀬美穂	2,865	匿名	3,000
井上房子	4,000	島野全生	2,900	廣瀬宣夫・眞由美	20,000	匿名	5,000
内田嶺子	6,000	島田弘二	3,000	別所恭子	20,000	匿名	3,000
海老原正・ヒロ子	2,000	下村正昭・久良子	4,000	松井信政	19,954	【関東甲信越支部扱い】	
大下奈々子	6,490	高野英子	10,000	松井かつ子	10,000	稻葉智枝子	3,000
奥村道顯・素子	2,000	高橋ヒサ子	820	道前カオル	10,000	【関西支部扱い】	
尾崎千代子	1,000	千畠朝子	10,000	村上雅蒼子	3,000	藤村弘子	5,000
梶原壽恵子	10,000	辻村ミヨ	5,000	矢野榮子	3,000	【中国地方支部扱い】	
川島英勝	1,316	寺脇みさ子	3,000	山田玲子	50,000	石井秀夫・絹代	600,000
川口千鶴子	50,000	蒔田 孝	100,000	山崎真佐子	2,150	【四国支部扱い】	
黒川富男	3,400	戸谷富美	2,000	山口文六・三枝	20,000	池田京子	10,000

ご寄付は、現金書留、あるいは郵便振替口座「東京00130-6-16468」をご利用ください。

いずれの場合も、「お名前」「会員番号」と送金の目的が「寄付」であることをお書き添えください。

皆さまのご協力、ご支援をお待ちしております。

医療相談 (通話無料)

0120-979-672

月・水・金曜日 午後1時から5時

会費の自動払込の案内 希望者はご連絡ください

協会年会費の自動払い込み（金融機関口座から自動引き落とし）の利用が10月からスタートしました。すでに約400人の会員から利用申し込みが届いています。

利用には諸手続きがありますので、ご希望の方は本部事務局まで連絡をお願いします。なお次の要項で実施しております。

- 対象 ▶ 希望の会員
- 払込日 ▶ 会費払込該当月の28日（10月払込の方なら10月28日引き落とし）
- 払込額 ▶ 会費相当額
- 手数料 ▶ 1回の払込に162円（150円+税）のご負担があります
- 取扱金融機関 ▶ 国内ほとんどの金融機関（信金、金融機関、信組、ゆうちょ銀行、農協含む）
- 領収書 ▶ 預金通帳の金額摘要欄に協会名を印字。領収書は発行しない

利用手続きの流れは図の通りです。

希望者はまず協会にご連絡ください。協会から「預金口座振替依頼書・自動払込利用申込書」を郵送し、必要事項を整えて協会に返送していただきます。金融機関へのお届けは不要です。

なお、退会・死亡などの連絡がないと自動払い込みが続くことになりますので、移動連絡を密にお願いいたします。

会費自動払い込み利用の流れ

- 1 希望会員は協会事務局に申し込む（電話、郵便、メールで）。会員番号を添えて
- 2 協会から説明書と「預金口座振替依頼書・自動払込利用申込書」（申込書）を郵送
- 3 「申込書」に必要事項を記入、署名、捺印して協会に返送。捺印には金融機関にお届けの印が必要です
- 4 金融機関の手続きを経て自動引き落とし開始

九州支部

☎ 092-724-6008

✉ kyushu@songenshi-kyokai.com

第8回くまもと市民 フォーラム

日程○11月5日（土）午後1時半～5時

会場○熊本市の県民交流館パレアホール

鶴屋東館10階

あいさつ○九州支部くまもと会長 安藤正幸

特別講演Ⅰ（座長 安藤正幸くまもと会長）

「患者の意思を尊重した 人生の終末段階における 医療体制—熊本市の取り組み」

講師○中林秀和氏 熊本市保健所医療政策課

特別講演Ⅱ

（座長 表参道吉田病院 田中不二穂副院長）

「尊厳死の側面」

講師○医師、支部くまもと副会長 吉田仁爾氏

2つの特別講演の間に寸劇があります

主催○九州支部くまもと

後援○熊本県医師会、熊本市医師会、熊本県看護協会、熊本県老人保健施設協会
熊本県、熊本市

かごしま公開講演会

日程○10月10日（月、祝日・体育の日）午後2時～

会場○かごしま市民福祉プラザ5階大会議室

（鹿児島市山下町15-1）

講演○「いのち・くらし・尊厳を守る支援を
目指して…」

—高齢者と子どもの看取り体験を通して—

講師○渡邊理恵さん 看護師・臨床心理士、支部
かごしま理事

●本部

〒113-0033
東京都文京区本郷2-27-8
太陽館ビル501

TEL 03-3818-6563
FAX 03-3818-6562

メール
info@songenshi-kyokai.com

ホームページ
http://www.songenshi-kyokai.com
郵便振替口座
東京00130-6-16468

●北海道支部

〒060-0807 札幌市北区
北7条西2丁目6 37山京ビル801
TEL 011-736-0290
FAX 011-299-3186

●東北支部

〒980-0811 仙台市青葉区一番町
1-12-39 旭開発第2ビル703号室
TEL 022-217-0081
FAX 022-217-0082

●関東甲信越支部

〒113-0033 東京都文京区
本郷2-27-8 太陽館ビル501
TEL 03-5689-2100
FAX 03-5689-2141

●東海支部

〒453-0832 名古屋市中村区
乾出町2-7 正和ビル2階
なかむら公園前法律事務所内
TEL 052-481-6501
FAX 052-486-7389

●北陸支部

〒920-0902 金沢市尾張町1-7-1
山崎法律事務所内
TEL 076-232-0900
FAX 076-232-0932

●関西支部

〒532-0003 大阪市淀川区
宮原4-1-46 新大阪北ビル702号
TEL 06-4866-6365
FAX 06-4866-6375

●中国地方支部

〒730-0024 広島市中区
西平塚町2-10
TEL 082-244-2039
FAX 082-244-2048

●四国支部

〒790-0067 松山市大手町1-8-16
二宮ビル3F B
TEL 089-993-6356
FAX 089-993-6357

●九州支部

〒810-0001 福岡市中央区
天神1-16-1 毎日福岡会館5階
TEL&FAX 092-724-6008

尊厳死の宣言書

(リビング・ウイル Living Will)

私は、私の傷病が不治であり、かつ死が迫っていたり、生命維持措置無しでは生存できない状態に陥った場合に備えて、私の家族、縁者ならびに私の医療に携わっている方々に次の要望を宣言いたします。

この宣言書は、私の精神が健全な状態にある時に書いたものであります。

したがって、私の精神が健全な状態にある時に私自身が破棄するか、または撤回する旨の文書を作成しない限り有効であります。

●私の傷病が、現代の医学では不治の状態であり、既に死が迫っていると診断された場合には、ただ単に死期を引き延ばすためだけの延命措置はお断りいたします。

●ただしこの場合、私の苦痛を和らげるためには、麻薬などの適切な使用により十分な緩和医療を行ってください。

●私が回復不能な遷延性意識障害(持続的植物状態)に陥った時は生命維持措置を取りやめてください。

以上、私の宣言による要望を忠実に果たしてくださった方々に深く感謝申し上げるとともに、その方々が私の要望に従ってくださった行為一切の責任は私自身にあることを付記いたします。

リビング・ ウイルの勧め

日本尊厳死協会は、命の終りが近づいたら延命措置を望まないで、自然の摂理にゆだねて寿命を迎えるご自分の意思を表したりリビング・ウイル「尊厳死の宣言書」を発行。その普及に努めています。現在12万人近い方がリビング・ウイルを持ち、安心した日々を送っています。自然のまま寿命を迎えることは、最期の日々をよりよく生きることであり、今を健やかに生きることにつながります。お友だちやお知り合いに協会や「宣言書」のことをお伝えいただければと願っています。

事務局から

●年会費について

- 新たに年会費の「口座自動引き落とし」制度ができ、ご希望の方はご利用いただけるようになりました。会報20ページに手続きのご案内を載せました。
- これまで同様、コンビニや郵便局での振り込みも可能です。会報が緑色のビニール封筒で届いたら年会費の納入時期です。封筒の表に「年会費払込票在中」と印刷してあります。
- この振込票には、会員の住所が省略されています。転居のご連絡以外は住所の記入は不要です。
- 振込手数料の安いコンビニ払いをお勧めしています。
- 年会費の振り込みを証明する領収書は、念のため1年間保存してください。

●会員番号について

- 協会への様々な問合せや連絡(住所変更、カード再発行、会費支払等)には、会員番号(会員証や宣言書コピーに記載)が必要です。予めお手元にご用意ください。

●退会の手続き

- 退会には会員の手続きが必要です。本部事務局までご連絡ください。会員がお亡くなりになった場合は、ご遺族からのご連絡をお待ちしています。

今号の1枚『紅葉』



歡喜の葉擦れが
風に乗り
交響曲となる
大自然の「計画」を
いま 果たし終え
憂いは何なし

松下 宏氏 (協会評議員)
9月1日、病氣のため死去、
歳。元三井銀行常務取締役。協 82
会では2004年から監事を務
め、財団法人化に伴い14年9月
から評議員。神奈川県相模原市
居住。

訃報

(白井)

私たちは暮らしと密接な関係にある政治と全く無縁でいらっしゃるわけではありません。協会が政治的に偏ることがあるわけではありません。協会が求められるところだと自覚し、よりよい誌面作りを目指します。

Living Will 目次

— 会報2016年10月 No.163 —

- 02 近藤正臣さん 大いに語る
「希望を言えば、最期はやはり自宅で」
- 06 第5回「日本リビングウイル研究会」
近藤正臣さん招き、
協会設立40周年記念として開催
- 07 ●第2回出前講座担当者会議を開く
- 08 全国自治体の「在宅死」割合
「最期は家で」にも地域差がある
／「在宅死」割合トップの横須賀市
- 11 追悼 井形昭弘名誉会長
理事長・岩尾總一郎／
前東海支部長・青木仁子
- 12 ●LWのひろば
- 14 ●支部活動 最前線
東海支部「法理研究会」／
関東甲信越支部「地域サロン」／
北陸支部第3回LW研／
関西支部第2回LW研
- 17 ●支部活動 2016秋～冬
- 20 年会費自動振込のご案内
- 21 LW受容協力医師／ご寄付
- 22 事務局から／編集後記／目次
- 23 尊厳死の宣言書／本部支部一覧
裏表紙 出版案内

協会会員:11万4454人
(2016年9月5日現在)

次号は、
2017年1月1日発行

※本誌記事の著作権は日本尊厳死協会にあります。
引用、転載に関しましては当協会にご相談ください。

編集後記

●会報162号「澤地久枝さん
インタビュー」で「内容の一部が
政治的すぎる」「協会会報として
いかがなものか」と会員から
苦情や意見を幾つか頂きました。

シリーズは、各界の方々にい
のちや最期の生き方に対する思
いを語っていただいていますが、
こんにちのその人なりに触れる
こともあります。澤地さんの場
合、これまでの生きざまから政
治に対する思いも深く、話がそ
こにも進みました。

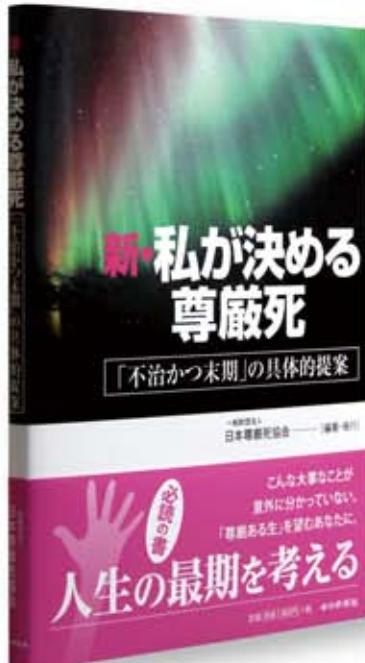
私たちも暮らしと密接な関係
にある政治と全く無縁でいらっ
しゃるわけではないことは確かです。それだ
けに会報編集にはより慎重さが
求められるところだと自覚し、
よりよい誌面作りを目指します。

出版案内

日本尊厳死協会が会員の皆様にお勧めする必読の書。好評発売中です。

新・私が決める尊厳死 「不治かつ末期」の具体的提案

編著・発行 日本尊厳死協会 発売 中日新聞社

人生の最期で迷わないために
尊厳死の「不治かつ末期」

専門医が病態ごとに「不治かつ末期」を分かりやすく説明しています。あなたの「?」に答えがあります。

- がんの末期 人工的な栄養・水分の補給は、かえって苦しみを増す?
- 持続的植物状態 延命措置の事前意思表示がない場合、医師や家族はどうしたら?
- 腎不全 「余命」宣告後に、医師から透析療法を勧められたら?
- 救急医療 日本救急医学学会が示す「終末期」の判断とは?
- 認知症 「不治かつ末期」をどう考える、延命措置は?
- 老衰 天寿を全うする「老衰死」。平穏な死を妨げるものは何か?

自分の終末期にどのような医療を望むのか、望まないのか。医師たちは「具体的な意思表示が大切」と訴えています。

モルヒネは鎮痛薬の王者 あなたの痛みはとれる

編著 日本尊厳死協会 発行 中日新聞社

医療用麻薬のモルヒネ
適正使用で「痛み」はとれる

医療用麻薬を適切に使用した緩和医療は会員の願いです。

●激痛から解放された

「痛みが取れ、夜よく眠れて、食欲も出てきた。夢のようです」——モルヒネの投与で激痛から解放された患者の喜びの声です。

●誤解されているモルヒネ

モルヒネの「中毒になり、死期を早める」「がん末期にしか使えない」といった誤解は、世界の医学界が否定しています。適正に使用すれば「鎮痛薬の王者」なのです。

●がん以外の痛みにも効果

帯状疱疹後神経痛、ロコモティブシンドローム、骨粗鬆症による脊椎の圧迫骨折、バージャー病、閉そく性動脈硬化症など、がん以外の痛みにも効果があります。

●専門医がアドバイス

執筆者の1人、加藤佳子医師は、「痛みは本人にしか分からない。我慢しないで、医師に『痛みを取ってください』と言いましょう」と呼びかけています。



お求めは協会事務局で

いずれも1100円(税・送料込)。お名前、住所、購入希望本を明記のうえ、代金を現金書留または定額小為替か切手相当額を同封して協会事務局(〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-8 太陽館ビル501)宛に郵送してください。